

# 賀茂地域教育振興方針 (H28~31)

## <概要版>

### 基本目標

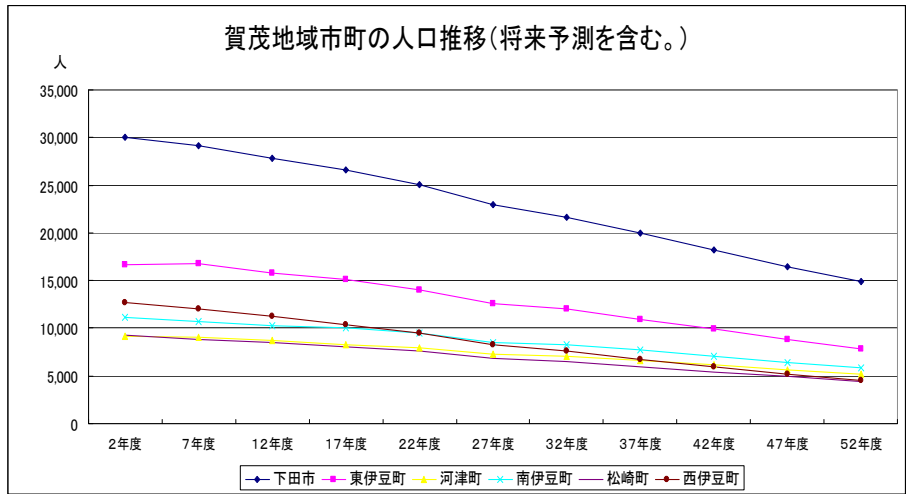
- ふるさとに誇り・愛着を持ち、地域の発展に貢献できる人づくり
- 学校・家庭・地域が連携し、地域全体で「賀茂の子」を育てる環境づくり
- 学校教育・社会教育の魅力化により、教育で人を呼び込む地域づくり

賀茂1市5町で、理想の教育を実現するための基本目標を定め、  
達成に向けて、地域が一体となって施策を推進していきます。

# I 賀茂地域における教育の現状及び課題

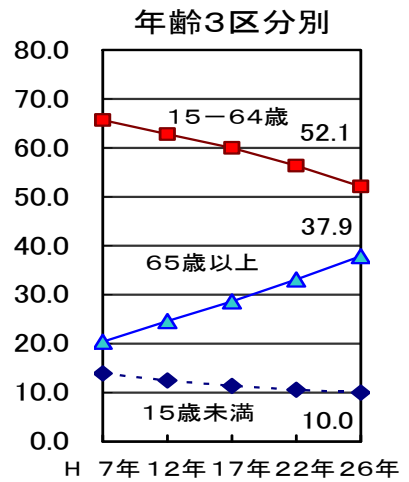
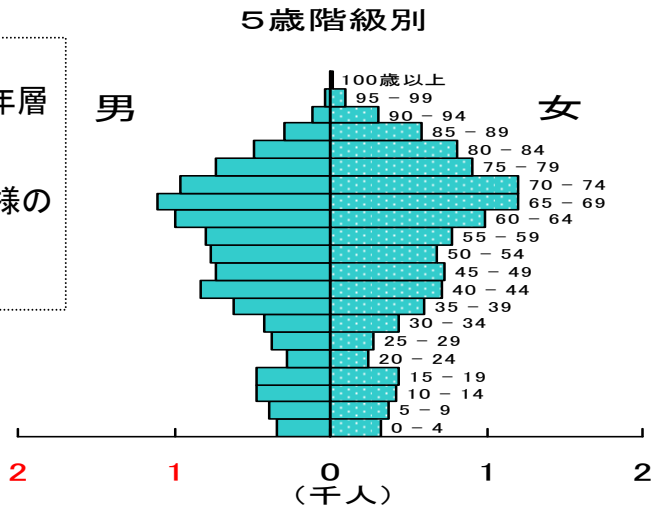
## 1 人口推移

賀茂地域の人口は、  
2040年(H52年度)  
に約2万人減少(4割減)  
約4万人となる見込み  
【対策なしの場合】



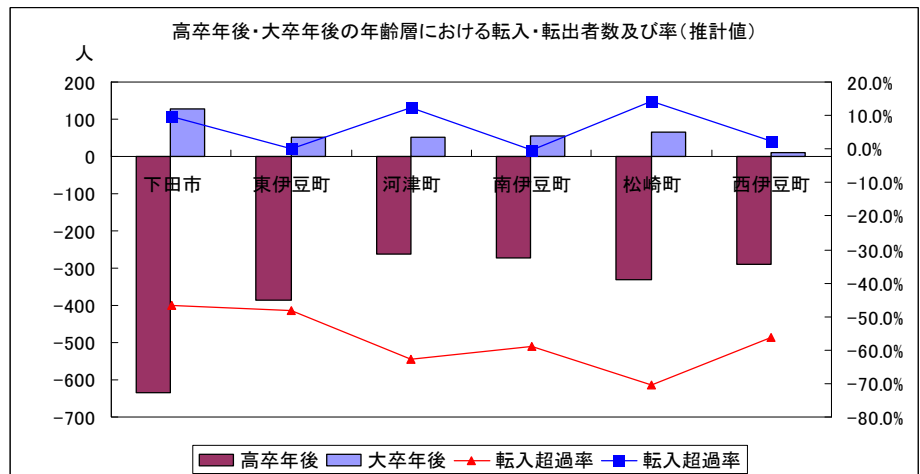
(参考1) 年齢構成 (下田市:H26.10現在)

少子高齢化と若年層  
の流出が顕著  
【他の5町でも同様の  
状況】



(参考2) 高卒・大卒時の人口移動

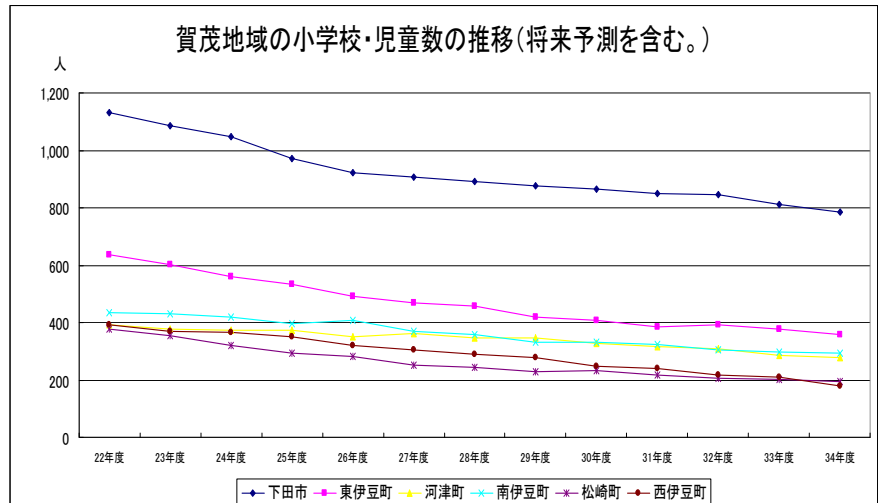
○高卒後は賀茂地域  
全体で人口の50%  
以上転出超過  
○大卒後は人口の約  
10%の転入超過  
→トータルでは大幅  
な転出超過



## 2 児童生徒数

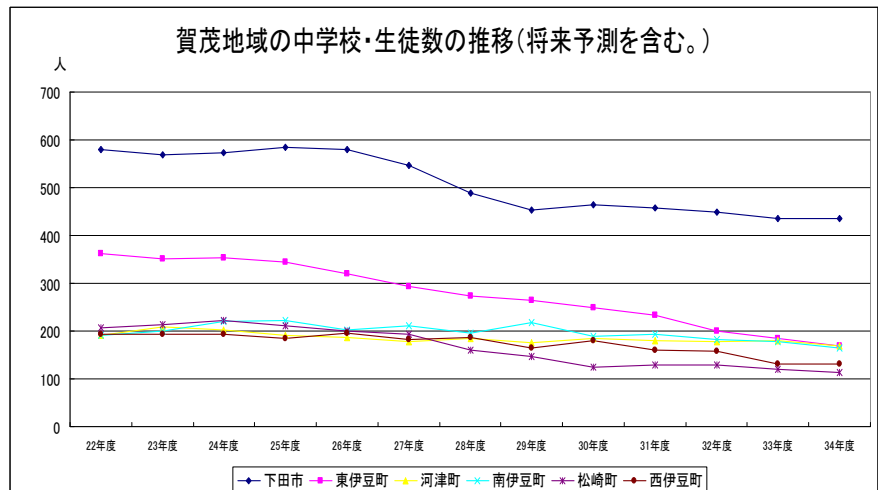
### (1) 小学校・児童数

2022年(平成34年度)に  
約500人減少(2割減)し、  
約2,000人となる見込み  
【現時点においても約9割  
の学年が単学級】



### (2) 中学校・生徒数

2022年(平成34年度)に  
約300人減少(2割減)し、  
約1,200人となる見込み



### (3) 児童生徒数の減少により危惧される課題

#### ア 教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題

- ・バランスのとれた教職員配置や指導の充実、多様な指導が困難
- ・教員が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達が困難
- ・クラブ活動や部活動の指導者確保が困難 など

#### イ 学校運営上の課題が児童生徒に与える影響

- ・集団経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション力が身につけにくい
- ・切磋琢磨する環境の中での意欲や成長、多様な物の見方や考え方に触れることが困難
- ・児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい など

#### ウ 児童生徒数や学校の減少が地域に与える影響

- ・地域の賑わいの不足や地域文化の伝承が困難
- ・高校卒業後に地域外に転出することにより、地域の活力が低下 など

## Ⅱ 課題検討に当たっての視点

### 1 静岡県の人口減少対策への提言

(3) 魅力ある教育環境の整備《教育》

○教育の多様性確保

質の高い教育、高等教育を提供することにより、地域に魅力を感じ、静岡県に戻ってくる可能性が高まる。また、静岡県に安心して住み続けてもらうためには、子どもの教育環境の充実が不可欠である。

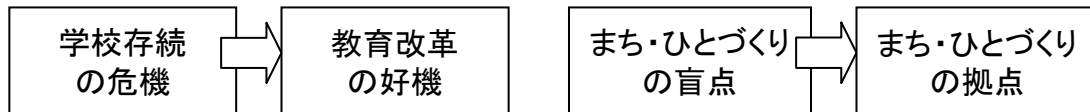
### 2 参考となる先進的な取組 (H28「賀茂地域の未来を考える」シンポジウムより)

○島根県海士町における高校教育の魅力化プロジェクト

(1) 地方で求められる教育とは

「子ども(ひと)たちに未来を生きる力」×「地域(まち)に未来を生きる力」を生み出すこと。

(2) 魅力ある学校創りによる地域再興(隠岐島前高校の挑戦)



○高校と地域の協働体制づくり

・学校魅力化の推進母体(魅力化の会)

PTA、学校、役場、教委、議会、民間団体、NPO等の住民有志

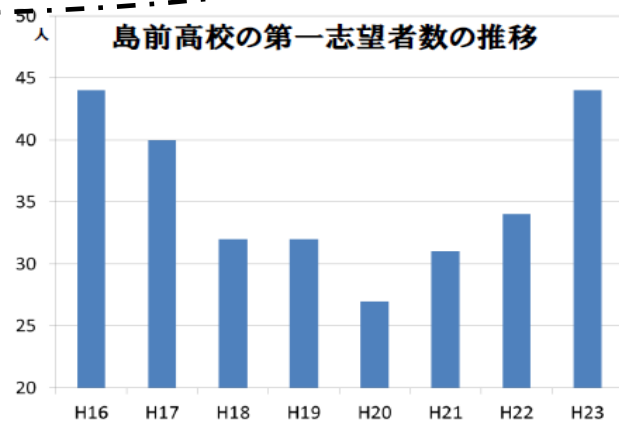
⇒生徒も意見やアイデアを出し、地域・学校の協働でビジョンを作成

○育てたい人材

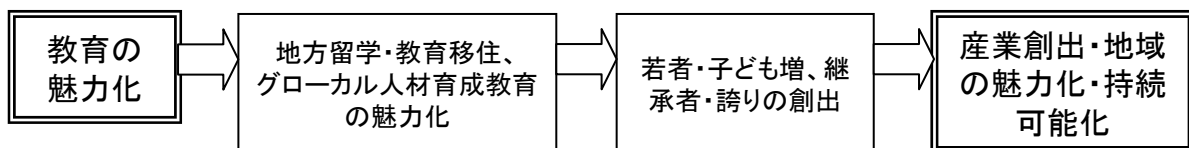
地域で事業・産業を創れる人財  
 地域起業家的精神×グローバルマインド

「仕事がないから帰れない」

⇒「仕事をつくりに戻りたい」



(3) これからの逆流(教育から地域の未来創造)



### Ⅲ 教育ビジョン（施策のパッケージ化）

#### 1 幼保・小・中・高の一体となった学校教育 （市町内の縦の接続、他市町との横の連携）

##### 取組内容・目標

##### ① 市町内・市町間の学校連携強化

- 各市町内・市町間において、「教職員の連携・交流」や「幼児・児童・生徒の交流」などを推進（賀茂1市5町教育委員会及び県教育委員会）
- 幼稚園、保育所、認定こども園等を巡回指導する「幼児教育アドバイザー」を配置、幼児期の教育・保育の充実及び幼小の円滑な接続の推進（県教育委員会）
- 賀茂地域における特別支援教育の在り方の検討（県教育委員会）
- 賀茂1市5町の連携を更に進めるため、賀茂地域教育振興センターの体制整備について検討（県教育委員会）
- 県立松崎高等学校の連携型中高一貫教育について、地域の人材育成や中・高交流など特色ある取組を更に推進（賀茂1市5町教育委員会及び県教育委員会）
- 地域と高校の連携による魅力ある教育実現のため、学校（小・中・高）、PTA、役場、教育委員会、民間団体、卒業生会、NPO等との対話の場設置（賀茂1市5町教育委員会及び県教育委員会）

★中学校卒業時に「将来、賀茂地域に帰ってきたい」と思う子どもの割合  
目標値 50%（平成31年度）

##### ② 人口減少に対応した教育の質の維持向上

- ICT活用による遠隔地間における児童生徒の学びの充実やなど、学校教育及び社会教育における教育の質の維持向上（賀茂1市5町教育委員会）
- 小規模校において少人数のメリットを最大限に生かし、外国語の発音、発表など多人数では指導が難しい教育活動の指導を徹底（賀茂1市5町教育委員会）
- 複数校における合同教育活動や山村・漁村留学の受け入れなど学習集団の規模や学習内容の多様性を確保（賀茂1市5町教育委員会）

★「ICTなどを活用した遠隔地間の協働学習・合同学習」に取り組む市町数  
目標値 6市町（平成31年度までに）

★「少人数を生かしたカリキュラム・指導方法の研究」に取り組む市町数  
目標値 6市町（平成31年度までに）

## 2 大学・大学院等との連携 (大学の研修・研究の場、地域課題への取組)

### 取組内容・目標

#### 賀茂1市5町と大学等との連携の推進

- 静岡大学教職大学院の「学校等改善支援研究員」の制度を活用し、コミュニティ・スクール導入、校内研修の活性化など各学校が抱える教育課題の解決に取り組み(賀茂1市5町教育委員会)
- 静岡大学と賀茂1市5町教育委員会との間において相互連携に関する協定を締結、人的・知的資源の交流、教職員の資質・能力の向上、学生の実践力育成などに取り組み(賀茂1市5町教育委員会)
- 地域金融機関と賀茂1市5町との間で包括的連携協定を締結し、地域づくり、子育て支援、教育活動支援など、地方創生に係る様々な分野で相互に協力し、協働して取り組み(賀茂1市5町教育委員会)

★静岡大学教職大学院の「学校等改善支援研究員」制度を活用した市町数  
目標値 1市町(平成31年度までにモデル的に実施)

★「静岡大学と賀茂地域6市町教育委員会間における相互連携の協定」の締結  
目標年度 平成28年度

## 3 既存ストックの有効活用(廃校、余裕教室等)

### 取組内容・目標

#### 学校施設の複合化や大学・専門学校などへの活用検討(誘致)

- 放課後や休日に地域における生涯学習やコミュニティの拠点として、学校施設の開放を推進(賀茂1市5町教育委員会)
- 学校施設の整備に当り、児童生徒の多様な学習と体験学習が行うことが可能となるよう、公共施設(社会教育、社会体育、児童福祉、老人福祉施設など)との複合化を検討(賀茂1市5町教育委員会)
- 既存ストックの有効活用のため、各市町教育委員会において余裕教室、遊休施設などをリストアップ(賀茂1市5町教育委員会)
- リストアップした施設について、文部科学省の手引きを参考に活用方法を検討(賀茂1市5町教育委員会)
- 大学・専門学校などの誘致が可能な施設は、文部科学省専用サイトに掲載し、有効活用を推進(賀茂1市5町教育委員会)

★「余裕教室、遊休施設などのリストアップ及び活用方法検討」を行った市町数  
目標値 6市町(平成28年度)

★地域における生涯学習の拠点やコミュニティの拠点として「学校施設の開放」に取り組む市町数  
目標値 6市町(平成31年度までに)

## 4 人的ネットワーク及び施設間連携の構築 (地域人材・指導者の登録・活用、コミュニティ・スクールの推進、 図書館等の相互利用等)

### 取組内容・目標

#### 賀茂地域教育サポーター推進組織の設立（広域人材マッチング）

- 「学校教育」、「文化・芸術」、「スポーツ」、「社会貢献」などの分野で、地域人材の参画による学校教育等の支援など、協働で教育支援に取り組むよう、「賀茂地域教育サポーター推進組織」を設立（県教育委員会及び賀茂1市5町教育委員会）
- 「しずおか型コミュニティ・スクール」の導入促進を図り、将来の地域を担う人材の育成、学校を核とした地域づくりを推進（県教育委員会及び賀茂1市5町教育委員会）
- 農山漁村等における体験活動で地域人材や地域資源を活用し、異世代間や都市農村交流を図り、地域の活性化を推進（賀茂1市5町教育委員会）
- 地元就職へのキャリアプランニングを推進する「キャリアプランニングスーパーバイザー（仮称）」を配置し、地域を担う人材育成・就労促進により地域の活性化を推進（賀茂1市5町教育委員会）
- 地域住民のサービス向上に向け、図書館等の相互利用など社会教育施設等の施設間連携を推進（賀茂1市5町教育委員会）

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| ★「賀茂地域教育サポーター推進組織」の設立             | 目標年度 平成28年度        |
| ★「しずおか型コミュニティ・スクール」を導入した市町数       | 目標値 6市町（平成31年度までに） |
| ★「キャリアプランニングスーパーバイザー（仮称）」を配置した市町数 | 目標値 6市町（平成31年度までに） |
| ★「図書館の相互利用に関する協定書」の締結             | 目標年度 平成28年度        |

## IV 教育ビジョンにおける最重点プロジェクト

### (1) 地域による高校の魅力化

学校（小・中・高）、PTA、役場、教育委員会、民間団体、卒業生会、NPO等による「賀茂地域学校魅力化推進検討協議会」の設立  
 ※テーマ：地元企業と連携した郷土学習、インターンシップの推進など

### (2) 大学、専門学校等の誘致

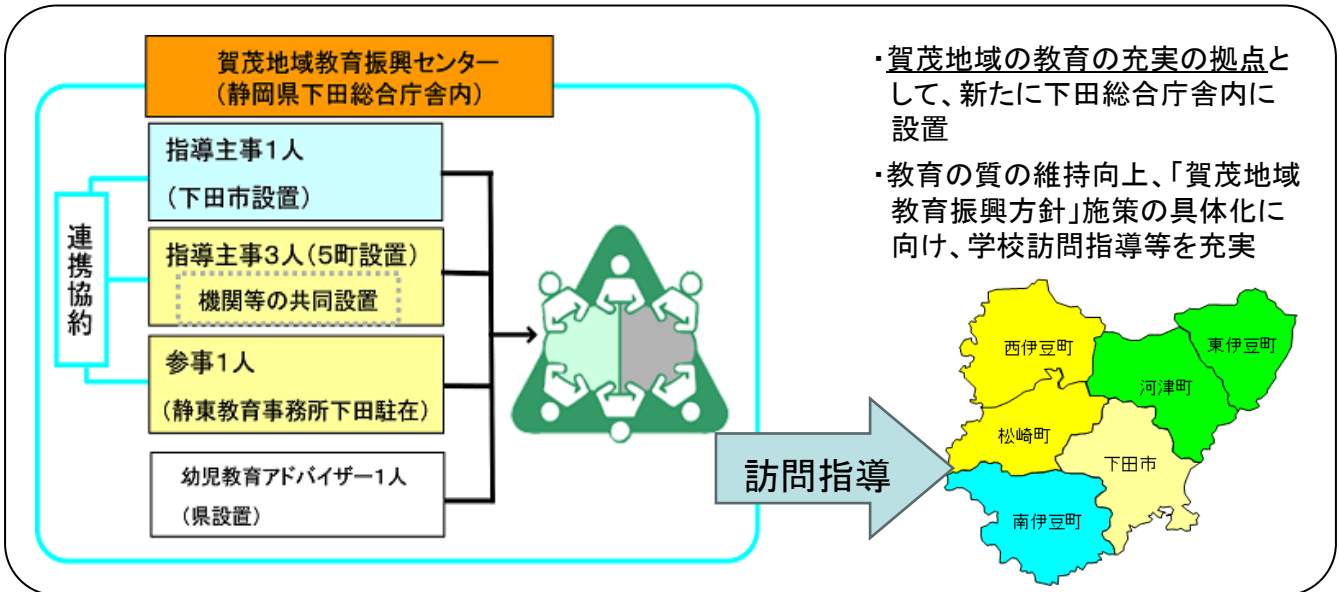
賀茂地域1市5町の首長によるトップセールス（パンフレット及びシティプロモーションビデオの作成）



## V 目標達成に向けての工程表

施策パッケージ	28年度	29年度	30年度	31年度
幼保・小・中・高の一体となった学校教育	連携強化に向けた取組の検討【6市町】	ICTなどを活用した遠隔地間の協働学習・合同学習の実施		
		少人数を生かしたカリキュラム・指導方法の研究の実施		
大学・大学院との連携	「静岡大学と賀茂6市町教育委間における相互連携の協定」締結【6市町】	静岡大学との協定に基づく連携事業の実施		
		静岡大学教職大学院の「学校等改善支援研究員」制度を活用した事業の実施		
既存ストックの有効活用	「遊休施設などのリストアップ及び活用方法の検討」【6市町】	余裕教室、遊休施設などを活用した事業の実施		
		地域における生涯学習の拠点などとして学校施設開放		
人的ネットワーク及び施設間連携の構築	「賀茂地域教育サポーター推進組織」の設立【県及び6市町】	しずおか型コミュニティ・スクールの導入		
		キャリアプランニングスーパーバイザー（仮称）の配置		

### 【参考】賀茂地域教育振興センター（H29.4設置）



平成29年5月 賀茂地域広域連携会議・専門部会 発行  
(下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町・静岡県教育委員会)